

事業所名称	法人本部	定員	
サービス種別	法人事務局		
サービスの特色・方針	理事会・評議員会を運営します。 会計・労務等、各事業所に共通する事務機能を担います。 各事業所を横につなげることで法人の機能を高めます。		
社会福祉への取り組み	「認知症にやさしい地域を創る会」への参加、運営事務		

今年度の挑戦（令和7年度）		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（K P I）
ご利用者	<b>■地域のニーズ変化を捉える</b> ○地域にどのような課題が生じているのか（例 世帯構成の変化による保証人不在）をキャッチする。 ○課題解決に向けてできる取り組みを検討・実施する。	○管理者会議での状況確認 月1回
財務	<b>■建物大規模修繕・改造計画の立案</b> ○紫雲の園の建物について県補助金、日本財団助成金の交付を前提とした大規模修繕・改造の具体的な計画を立案する。	○計画案の作成
業務	<b>■システム更新</b> ○財務会計システムのクラウド化	○移行予定時期 令和7年7月
人材	<b>■外国人介護人材の受入れ検討</b> ○外国人介護人材を受入れるにあたり必要な事項を検討・決定する。	

事業所名称	特別養護老人ホーム 紫雲の園	定員	入 所 90名 短期入所 9名
サービス種別	介護老人福祉施設 (介護予防)短期入所生活介護		
サービスの特色・方針	法人理念である「大慈愛心」を実践するため、困難な事例においても積極的に関りを持ち続けることが、ご利用者の満足、地域社会の満足、職員の満足に加え、法人の永続性の確保や将来世代の満足に繋がるという信念を持ち、職員1人1人の専門性の強化や施設内のチーム力の向上に努めていきます。		
社会福祉への取り組み	比較的安価な自己負担額で利用できる従来型多床室である事が、地域においては大きな福祉財産であるという事を自覚し、法人減免の活用促進や生活困窮者の受け入れを積極的に行ってまいります。		

今年度の挑戦（令和7年度）		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（KPI）
ご利用者	ご利用者の生活の質(QOL)の向上を目指して、趣味活動の充実、外出機会の増加を図るとともに、個別ニーズへの対応力を強化する。	ご利用者の視点をもとに、各部署で立案された取り組みが、7割以上着手または実行できていること。
財務	職員の身体的負担や心理的負担の軽減、残業時間の減少を図るために、課題にあった介護ロボットやセンサー等の導入を行い、効果的に活用する。	財務の視点をもとに、各部署で立案された取り組みが、7割以上着手または実行できていること。 入所稼働目標：99% 短期稼働目標：75%
業務	整理整頓ができていないために落ちている作業効率を上げるために、5S活動(整理、整頓、清掃、清潔、躰)を行い、業務の効率を高める。	業務の視点をもとに、各部署で立案された取り組みが、7割以上着手または実行できていること。
人材	教育担当職員の考え方を一定にして、施設全体の業務の手順やケアの質を一定に保つために、標準的な手順に則って「他職員に対して教える」ことのできるリーダーを育成する。	人材の視点をもとに、各部署で立案された取り組みが、7割以上着手または実行できていること。

事業所名称	浅羽デイサービスセンター	定員	通所介護・現行相当 50名 通所型サービスA 15名
サービス種別	通所介護（第一号通所事業を含む）		
サービスの特色・方針	<p>多数の有資格者を配置し、安心・安全なサービスを提供させていただきます。入浴方法は一般浴・個浴・中間浴・機械浴があり、その方に合った入浴方法で対応します。食事についても、常食・一口大・きざみ・ソフト・ミキサーなど様々な食形態に対応しています。機能訓練に力を入れ、アプリ【トルト】を導入し、AIによる歩行分析を行い、評価し、運動トレーニングの提案をさせていただきます。その他に、季節の行事や制作、書道、調理、園芸、おやつ作りなどの趣味活動、また、地域のボランティアによる歌や踊りなどもご利用者の楽しみになっています。</p> <p>ご利用者が住みなれた家で自分らしく過ごせるように、職員が一丸となり自立支援に取り組んでいます。</p>		
社会福祉への取り組み	社会福祉法人利用者負担減免制度があります。		

今年度の挑戦（令和7年度）		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（K P I）
ご利用者	<p>■楽しい食事の提供</p> <p>○季節感、味、見た目、雰囲気等の工夫</p> <p>■ICTを活用してデイサービスの様子をご家族様に報告できるよう準備を進める。</p>	<p>○調理レク、おやつレク 1回/月</p> <p>○ネット環境を整える</p> <p>○ケアコネの登録等利用準備を行う</p>
財務	<p>■事業所区分の大規模（I）の最大値を目指す</p> <p>■認知症加算算定の維持</p> <p>■ADL維持等加算の算定（R8年度）</p> <p>■茶ろん（サービスA）の登録者を増やす</p> <p>■光熱費・事務費等のコストダウンを図る</p>	<p>○延べ利用者数 900人/月</p> <p>○週単位 240人</p> <p>○キャンセル率 10%以下</p> <p>○認知症高齢者の日常自立度ランクⅢ以上の利用者数 15%以上</p> <p>○バーセルインデックスの利得値1以上</p> <p>○登録者 8人/日 40人/月</p> <p>○光熱費等を毎月職員に開示し、コストダウンの意識付けをする</p>

<p style="text-align: center;">業 務</p>	<p>■<u>生産性向上に取り組む</u></p> <p>■<u>リスクマネジメント</u></p>	<p>○QC活動として取り組む 10月から2月の間に実施 月1回会議を開催（進捗確認）</p> <p>○ヒヤリハット報告啓発活動 1回/月 ケース会議の時間を利用</p>
<p style="text-align: center;">人 材</p>	<p>■<u>内部研修</u></p> <p>■<u>外部研修</u></p>	<p>○ケース会議 最大2回/月 LIFEのフィードバック内容の検討</p> <p>○防災・感染症 1回/年</p> <p>○職員1名につき講座の受講</p>

事業所名称	浅羽ケアマネジメントセンター	定員	6名
サービス種別	居宅介護支援		
サービスの特色・方針	特色：社会福祉士・看護師・主任介護支援専門と3職種揃った事業所 方針：利用の存在・意向を尊重し、本人の自律を支援するとともに本人ができる事を増やせるように側面的に支援します。		
社会福祉への取り組み	地域で自分らしく自立した暮らしが送れるように、多職種と連携し利用者や住民に福利を提供できるよう努めます。		

今年度の挑戦（令和7年度）		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（KPI）
ご利用者	<p>■<u>その人らしい生き方を尊重して支援する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○どんな生活を望んでいるか、本人の意思に寄り添う</li> <li>○生活の様々な選択を自己決定できるよう支援する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本人や家族の話をよく聴く 最低でも月1回の訪問を厳守する</li> <li>○解決や緩和が本人たちにできるように環境等に働きかける</li> <li>○信頼関係の構築</li> <li>○地域に在る多機関の働きを知る</li> </ul>
財務	<p>■<u>選ばれる事業所となる</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○法令遵守</li> <li>○地域住民・関係機関から信頼を得る</li> <li>○特定事業所加算Ⅱ取得継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○給付管理研修目標：200件</li> <li>○運営基準の厳守</li> <li>○特定事業所加算要件の順守</li> </ul>
業務	<p>■<u>利用者の意思決定支援や適切な介護給付を実現する</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○尊厳の保持</li> <li>○自立支援に資する適切なケアマネジメント</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アセスメントシートの記録作成 ケアプラン1～5表の記録作成 モニタリング表の記録作成</li> <li>○日常生活全般を支援するサービスが包括的に提供されるようなプラン作成をする</li> </ul>
人材	<p>■<u>信頼関係を構築し、お互いに安心して話せる環境を作る</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○異なる考えや味方の発見。認識を受け入れる。</li> <li>○どう感じ・どう考えたかを言語化する</li> <li>○事例検討会の機会を持つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自信を含めそこに在る人をどう理解していくかを学ぶ</li> <li>○他者を理解できる容量を広げる</li> <li>○お互いを認めあい支持する</li> <li>○会議を開催し質の向上に努める 週1回の定例会議開催</li> </ul>

事業所名称	浅羽地域包括支援センター	職員数	6名
サービス種別	地域包括支援センター 介護予防支援		
サービスの特色・方針	<p>高齢者が尊重され、住み慣れた地域で、健やかに自分らしく暮らせることができるように地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行います。</p> <p>センターでは、保健師（2名）・社会福祉士・主任介護支援専門員の3職種と生活支援コーディネーター・認知症地域支援推進員・介護支援専門員が配置されています。地域に暮らす住民等の困り事においては、それぞれの専門性を活かし、様々な機関と連携し業務を行っています。又地域のネットワークを駆使して解決に努めます。</p>		
社会福祉への取り組み	介護予防、日常生活への支援体制構築に努めます。又、地域に出向き活動に参加し住民の声を聞き取り、声が形になるよう取り組みます。		

今年度の挑戦（令和7年度）		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（KPI）
ご利用者	<p>■<u>地域住民の相談に対応し、課題解決を図る</u></p> <p>○住み慣れた地域で暮らすことができる</p> <p>○関係機関との連携を図る</p>	<p>○継続的・専門的相談支援を行う</p> <p>○民生委員児童委員協議会、福祉推進会議見守りネットワーク会議の参加</p>
財務	<p>■<u>高齢者が地域で自立した日常生活を送ることができる</u></p> <p>○予防のための計画作成</p> <p>○委託事業所との連携</p>	<p>○R7年度給付管理目標 200件</p> <p>○委託件数 70件</p>
業務	<p>■<u>高齢者が尊重され健やかに暮らすことができる</u></p> <p>○総合相談支援</p> <p>○包括支援ネットワーク構築</p> <p>○権利擁護業務</p> <p>○介護予防</p> <p>○認知症総合支援事業</p> <p>○在宅医療・介護連携の推進</p>	<p>○電話、訪問、来所での相談対応 250件</p> <p>○フォーラム・ワークショップの開催1回</p> <p>○成年後見制度の利用 5件</p> <p>○マネジメントの実施</p> <p>○認知症に関する知識の普及、啓発</p> <p>○医療と介護の連携強化、ACPの市民への啓発</p>
人材	<p>■<u>職員の自己成長をはかる</u></p> <p>○研修へ積極的に参加</p> <p>○専門職の特性を活かす</p>	<p>○各自研修の参加</p> <p>○グループスーパービジョン研修の参加</p> <p>○事例検討 年2回</p> <p>○月2回のミーティングの開催</p>

事業所名称	ひなた	登録定員	29名
サービス種別	小規模多機能型居宅介護（介護予防含む）		
サービスの特色・方針	<p>利用者が在宅での生活を継続・維持できるように、また、ご家族が在宅での介護を継続・維持できるように「通い」「泊まり」「訪問」のサービスを組み合わせて臨機応変に対応・援助して行く。</p> <p>そのために、利用者ご本人、ご家族と相談を密にし、寄り添う介護を実践する。</p>		
社会福祉への取り組み	<p>①利用者の生活地域での溶け込み援助 ②緊急受け入れと入所までのつなぎ ③はいかい SOS 協力事業所 ④認知症に関する学習や啓発</p>		

今年度の挑戦（令和7年度）		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（KPI）
ご利用者	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ご利用者様を個別の視点できめ細やかな対応ができるよう職員間での密な連携を図る</li> <li>○多様化したニーズに対応できるように臨機応変な体系の構築を図る</li> <li>○常に、ご利用者様の状態把握に努め適切な介護度を検討する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○利用開始時のアセスメント作成と都度、更新をする。職員間で共有するための回覧確認の徹底</li> <li>○小規模多機能の特性を利用者・家族にしっかり説明する。併せて、職員の理解度も確認していく（事業の特性の周知を図る）</li> <li>○介護度に見合ったサービスの量を適切に判断し不公平感を是正する</li> </ul>
財務	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎月の目標売上をクリア</li> <li>○健全な事業運営を目指す</li> <li>○食事などの自費部分の見直しを検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○月間売り上げ 570 万円を目指す</li> <li>○支出経費を削減し無駄を省く 収支差額の黒字化</li> <li>○サービス提供体制加算Ⅰの取得</li> <li>○区分変更の実施（状態に合わせたサービスの提供を実現）</li> <li>○仕入れ価格、仕入れ先の検討 原価に見合った対価の設定を検討し必要に応じて値上げを検討実施</li> </ul>

<p style="text-align: center;">業 務</p>	<p>○BCP マニュアル（事業継続計画）のアップデート</p> <p>○計画的な内部・外部研修の参加実施により職員のスキルアップを図る</p> <p>○SNS の発信により事業活動の啓発をはかる</p>	<p>○BCP 訓練の実施と問題点の見直し変更を繰り返す （年2回以上の各訓練を実施）</p> <p>○個別に学習目標を設定し能力・職位に合わせた計画的な研修の実施 （内部・外部研修の参加・WEB の活用）</p> <p>○閲覧数を増やしフォロワー数を増やす。発信力を高める</p>
<p style="text-align: center;">人 材</p>	<p>○職員の定着をはかる為、職員間の連携や風通しの良い働きやすい環境作りの構築</p> <p>○適材適所、無理のない働き方を実現できるよう個性の尊重に目を向けた人材作りをチームで行う</p>	<p>○定期的な職員会議（月/1回）の開催で活発な意見交換、互いの個性の尊重をはかりチームワーキングを高める</p> <p>○自己覚知を探求し成長が実感できるよう研修会の積極的な参加実施を行う</p>



事業所名称	グループホームひなた	定員	18名
サービス種別	認知症対応型共同生活介護（介護予防含む）		
サービスの特色・方針	要支援2～要介護5までの認知症の方に、家庭的で落ち着いた雰囲気の中、食事の支度や掃除、洗濯などをスタッフと共に行い、生活に満足出来るようなケアを提供する。認知症の方が混乱しないで普通の生活を送る事が出来るよう配慮し、画一的では無く、個々の生活を重視することにより、認知症の進行を穏やかに出来るようケアする。		
社会福祉への取り組み	①利用者の生活地域での溶け込み援助（運営推進会議の開催：年6回） ②状態に合わせた施設の説明と特養との連携 ③はいかい SOS 協力事業所 ④認知症に関する学習や啓発（認知症サポーター養成講座）		

今年度の挑戦（令和7年度）		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（KPI）
利用者	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ご入居様の認知症を個別に理解し対応できるようにする （認知症個別ケアの実践）</li> <li>○ご利用者様の満足度をあげ、居心地の良い環境作りを実施</li> <li>○入院しないで生活が維持できるように体調の維持を図る</li> <li>○施設入居し認知症を患っていても、季節を感じ、その人らしさを持ち続ける事ができるように配慮する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○認知症に対する知識を深めるよう定期的に学ぶ機会を作る （認知症内部研修：年4回） （認知症実践者研修：1名参加） （認知症リーダー研修：1名参加）</li> <li>○職員の気付く力を高め混乱を軽減する</li> <li>○接遇研修の実施</li> <li>○日々の状態観察、情報共有（ケアカルテの活用） ※看護師と相談しながら個別機能訓練を短時間でも取り入れていく</li> <li>○季節に合わせた行事計画をたてて実施する 日常の中に、季節や趣味嗜好を大切に出来るよう職員の関わり方に意識づけを行う</li> </ul>
財務	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎月の目標売上をクリア</li> <li>○目標稼働率をクリア</li> <li>○無駄な支出を削減し適切な施設運営を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○月間売り上げ720万円を維持</li> <li>○月間稼働率98%を維持</li> <li>○不必要な経費見直しの為、業者や消耗品の見直しや光熱費の無駄を削減する</li> </ul>

<p style="text-align: center;">業 務</p>	<p>○BCP マニュアル（事業継続計画）のアップデート</p> <p>○計画的な内部・外部研修の参加実施により職員のスキルアップを図る</p> <p>○業務（委員・係）担当・ケース担当の見直しで仕事の責務を意識づける事で職員間の業務の偏りが軽減できるようにする</p>	<p>○BCP 訓練の実施と問題点の見直し変更を繰り返す （年 2 回以上の各訓練を実施）</p> <p>○個別に学習目標を設定し能力・職位に合わせた計画的な研修の実施 （認知症実践者研修、介護福祉士の取得を後押しする。WEB の活用）</p> <p>○感染症に関する研修の参加・施設内点検整備</p> <p>○担当表の作成と業務内容の明確化で個々の職員が責任を持つようにする</p> <p>○生産性向上に取り組む：5S 活動の取り組み周知を実施</p>
<p style="text-align: center;">人 材</p>	<p>○職員の定着をはかる為、職員間の連携や風通しの良い働きやすい環境作りの構築</p> <p>○適材適所、無理のない働き方を実現できるよう業務の明確化を図る</p>	<p>○定期的なミーティングの実施で活発な意見交換、互いの個性を尊重しチームワーキングを高める （全体会議：2 か月/1 回、ユニット会議：月/1 回、事例検討：適宜）</p> <p>○介護助手（有償ボランティア）の活用で職員がより専門性のある業務を行う事ができるようにする</p> <p>○小規模多機能との連携を図り、お互いを助け合う環境意識を構築する</p>

事業所名称	ルンビニこども園	定員	100名
施設区分	幼保連携型認定こども園		
保育の理念・方針	<p>ルンビニこども園は、「健やかな心」を育てるために、お釈迦様の教え、『<b>仏教</b>』を基本理念として保育・教育します。</p> <p>園名の由来にもあるとおり、ルンビニこども園は仏教保育をするこども園として創設されており、その保育目標を以下の3つとします</p> <p>&lt;生命尊重&gt;</p> <p>(1) めぐみの心を持ち、生命を尊重できる様に導く。</p> <p>&lt;修善&gt;</p> <p>(2) 善悪をみきわめ、絶えず正しい方に進む様に導く。</p> <p>&lt;協調&gt;</p> <p>(3) 自分の立場を考え、他と協調できる様に導く。</p>		
社会福祉への取り組み	在園中の家庭に限らず、地域の子育て家庭に向けても情報の発信に努めます。『誰でも通園制度』への認識を深め、いつでも受け入れできる準備を進めます。		

今年度の挑戦（令和7年度）		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（KPI）
子どもと保護者	<p>■<b>保育の標準化</b></p> <p>○子どもを中心においた保育を模索し、どの職員も同じ対応ができるよう標準化を目指します。</p> <p>○子どもの育つ力を後押しします。</p>	<p>○保護者との連携を密にとり、子ども一人一人にあった保育を提供します。</p> <p>保育参加への保護者の出席率 75%</p>
経営（財務）	<p>○直接入所契約となる1号認定児童の入所率を高い水準で維持できるよう情報発信に努める。</p> <p>○安全安心に配慮し、選ばれる園になるよう勤める。</p>	<p>○毎月1回の園庭開放を実施し、地域に対する園情報の発信に努めます</p> <p>園庭開放(支援ひろば事業) 12回/年 1号認定児童の入所率 100%</p>
運営と業務	<p>■<b>ホームページの活用</b></p> <p>○園の情報発信</p> <p>○利用希望者の増加</p> <p>○就職を検討する学生へのアピール</p>	<p>○ホームページの内容の充実とこまめな更新を図り、園の理解促進につなげます。</p>
職員（人材）	<p>■<b>職員のスキルアップ</b></p> <p>○保育士のキャリアアップ制度並びに各種外部研修の受講が事実上義務化されました。これまで以上に参加しやすい人員配置を計ります。</p> <p>■<b>仏教保育について園内研修の充実</b></p> <p>○若い職員も多くなり、既存職員に対してもあらためて仏教保育について周知する研修を充実させる。</p> <p>■<b>職員の定着</b></p> <p>○働きやすい職場環境を維持し、退職しやすい雰囲気をはたす。</p>	<p>○子ども園として充実した保育・教育が提供できるよう、採用活動をすすめる。</p> <p>加算対象職員数の充足率 100%</p> <p>○新規採用職員を含め、あらためて仏教保育の本分について研鑽を積む。</p> <p>○離職職員を減らし、職員数の安定を図る</p>

事業所名称	ルンビニひかり園	定員	100名
施設・事業所類型	幼保連携型認定こども園		
保育の理念と方針	<p>・仏教を基本理念とし、子ども一人一人を大切にし、保護者からも信頼され、地域に愛される園を目指しています。又、《感謝の気持ち》を育て「ありがとう」が言える心豊かな人間性を持った子どもに育成します。</p> <p>【保育目標】</p> <p>1、めぐみの心を持ち、命を尊重できるよう導く</p> <p>2、善悪を見極め、絶えず正しい方に進むよう導く</p> <p>3、自分の立場を考え、他と協調できるよう導く</p>		
保育の特色	<p>・自園給食と食育</p> <p>・年齢別保育と異年齢保育の融合</p> <p>・体育指導、音楽指導、英語教室、茶道</p>		
社会福祉への取り組み	<p>・地域子育て支援拠点事業の経営</p> <p>・相談窓口の開設      ・一時預かり保育の再開</p>		

今年度の挑戦（令和7年度）		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（KPI）
子どもと保護者	<p>■子育て支援</p> <p>○保育参加時に面談を行い、保護者の子育てに寄り添う。</p> <p>○クラス懇談会を年一回行い、保護者同士の交流を図る。</p>	<p>○面談、クラス懇談会を年一回ずつ行い、保護者の子育てを支援していく。</p> <p>○保育参加の参加率は100%、懇談会は95%を目指す。</p>
経営（財務）	<p>■1号認定児の募集</p> <p>○HPや支援センターで募集を呼びかける。</p> <p>■こまめな節電と節約を心掛ける。</p>	<p>○令和8年度以降も安定した入所率となるよう情報発信する。</p> <p>○物品の使用方法やエアコンの設定温度の見直しをする。</p>
運営と業務	<p>■広報活動の充実</p> <p>○新聞の発行、HP、インスタグラム</p> <p>■保育環境の充実</p> <p>○玩具など保育環境の見直し</p>	<p>○新聞は年6回発行。HPは週1回以上更新する。</p>
職員（人材）	<p>■職員のスキルアップ</p> <p>○園内研修のあり方を見直し、全職員が意見を言える場を設ける。</p> <p>■職員の採用</p> <p>○インスタグラムを利用した園のPRを行い、職員採用に繋げる。</p>	<p>○研修の内容を職員から募り、充実した話し合いを行う。</p> <p>○HPや求人媒体は利用しつつ、インスタグラムでは、保育士の日常や魅力を発信する。</p>

事業所名称	ルンビニあゆみ園	定員	129名
サービス種別	幼保連携型認定こども園		
保育の特色・方針	<p>ルンビニあゆみ保育園は、「健やかな心」を育てるために、お釈迦様の教え、『<b>仏教</b>』を基本理念として保育します。</p> <p>園名の由来にもあるとおり、ルンビニ保育園同様、仏教保育をする保育園として創設されており、その保育目標を以下の3つとします</p> <p>&lt;生命尊重&gt;</p> <p>(1) めぐみの心を持ち、生命を尊重できる様に導く。</p> <p>&lt;修善&gt;</p> <p>(2) 善悪をみきわめ、絶えず正しい方に進む様に導く。</p> <p>&lt;協調&gt;</p> <p>(3) 自分の立場を考え、他と協調できる様に導く。</p> <p>個別対応の乳児保育担当保育をおこないます。</p> <p>遊びを通じ、子どもの主体性を育む保育をおこないます。</p>		
社会福祉への取り組み	<p>地域の子育て拠点として、園庭開放、子育て広場などおこないます。</p> <p>実習生、ボランティア、見学者の受け入れをします。</p>		

今年度の挑戦（令和7年度）		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（KPI）
子どもと保護者	<p>■保護者への情報発信</p> <p>○保育参観やおたよりをはじめとした保育内容の発信、また保育内容を理解していただく。</p>	<p>○今後も、おたより、ホームページ、動画配信をおこなっていく。保育参加の参加率 100%を目指す。令和6年度 88.0%</p>
経営（財務）	<p>■1号認定児、0歳児の募集</p> <p>○1号認定児の募集は順調。次年度につなげられるよう、今後もHP、園庭開放などで発信していく。</p> <p>■こまめな節電と節約を心掛ける。</p>	<p>○4月当初入園児童数 119名</p> <p>0歳児 7名 3歳児 27名</p> <p>1歳児 15名 4歳児 26名</p> <p>2歳児 18名 5歳児 27名</p> <p>内1号認定児は10名</p>
運営と業務	<p>■広報活動の充実</p> <p>○外部に向けホームページの活用</p> <p>■不適切な保育をおこなわないために</p> <p>○職員間の風通しを良くして、仕事に余裕を持って取り組む。保育への意識を高めていく。</p>	<p>○今後も週2回程度の更新を目指す。</p> <p>○すでに業務内容は見直しを終えている。情報を発信し、職員同士の話し合いや、連携を一層深めていきたい。</p>
職員（人材）	<p>■職員のスキルアップ</p> <p>○処遇改善を確保するため、キャリアアップ研修を計画的に受ける。令和7年度でほぼ達成となる。</p> <p>■新卒者の指導</p> <p>○新卒者が2名配属となる。</p>	<p>○異動や退職により、条件をクリアした人材が流出することを見越し、達成後も研修を進めていく。</p> <p>○2年ぶりに新卒者の採用。2人以上の採用は6年ぶり。きちんと指導、援助をしていきたい。</p>

事業所名称	ルンビニ保育室 花びら	定員	12名
施設・事業所類型	小規模保育事業所 A型		
保育の理念と方針	ルンビニ保育室『花びら』は、小規模保育事業所(A型)です。保育理念、保育方針はルンビニこども園に準じます。		
保育の特色	対象年齢は0.1.2歳児。乳児保育担当制の保育を行います。		
社会福祉への取り組み	浅羽中央公園の利用、および自治会奉仕作業への参加。実習生、ボランティア、見学者の受け入れ。		

今年度の挑戦（令和7年度）		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（KPI）
子どもと保護者	<b>■個別対応の徹底</b> ○個別面談を行い相談しやすい場の提供をする ○家庭環境の背景を十分に把握し、一人一人の育ちにあった保育の提供	○保育参加週間に加えて面談月間を設ける ○定期的なケース会議を行う
経営（財務）	<b>■定員割れの改善</b> ○積極的な園児募集	○子育て冊子の有効利用 ○乳児が利用する施設でのチラシ配布等積極的に行う
運営と業務	<b>■Instagramの活用</b> ○保育の見える化	○令和6年度は、インスタを見ての見学希望者が多かったのでR7年度も保育内容配信を増やしていく
職員（人材）	<b>■自己研鑽</b> ○積極的な企画・取り組みを増やす ○研修参加者代替職員の配置	○自発的な取り組みを増やし自信につなげる ○積極的に研修に参加し、資の向上につなげていく